



～君らしい 笑顔輝く 学校へ～

# 2月 じんけんだより

令和6年  
2月  
横瀬小学校



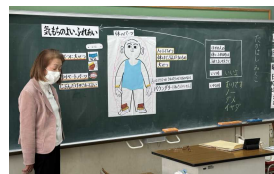
いのち

## 生命の安全教育

12月の「じんけんだより」でお知らせしていました、生命の安全教育を2年生（12/18）と5・6年生（1/12）で実施しました。

12月18日には、「人間と性」教育研究協議会から、高橋三枝子先生に来ていただき、「気持ちのよいふれあい」という主題で、2年生を対象に授業をしていただきました。

はじめに、人の体にはいろんなパーツがあってプライベートパーツ（性器・お尻・胸・口）を含む、全てのパーツが自分だけの大切なものであることを学習しました。



また、**バウンダリー**という言葉についても学習しました。バウンダリーは、自分と他者を区別する境界線のようなもので、良好な人間関係を築いていくために重要なものです。授業の中で、高橋三枝子先生は、2年生の子どもたちに分かりやすいように、「バウンダリーは体の境界線、動物の縄張りのようなもの」と教えてくださいました。私たちが自分の置かれた立場や相手との関係性によって対応を変えることができるのはこのバウンダリーのおかげなのだそうです。自分とバウンダリーの間距離は人によって違うし、相手によっても違う。そして、それは自分で決めていいのです。もし、誰かが自分の決めた境界線（バウンダリー）の内側に踏み込んできたら「嫌だ」と断っていいし、逆に自分が相手のバウンダリーの内側に入りたいときは、了解を得なければならないことを教えていただきました。自分の境界線を大事にするのと同じように相手の境界線も大事にしなければならないということですね。

最後に、学習したことを生かして、「ふれあいサイコロゲーム」をしました。サイコロを振って、出た目によって「頭なでなで」や「おんぶ」などをします。二人組でじゃんけんをして勝った人が「〇〇してもいい？」と聞き、相手の返事を待ってからします。



「了解を得る」「了解する」「断る」の練習です。「いいよ」と言ってもらって、おんぶしたり握手したり、ふれあいの心地よさを味わっていました。



1月12日には、町内3校のスクールカウンセラーをしていただいている高橋勤子先生に来ていただき、「性犯罪・性暴力」という主題で5・6年生を対象に授業していただきました。

まず、**からだの権利**（自分のからだは自分のものであり、自分で決めていい）について説明を聞きました。ここでも、相手が同意を求めても、どうするか決めるのは自分だし、嫌なときは「嫌だ」と言っていっていいということを学習しました。

こういった体の権利を踏みにじる行為が性暴力・性犯罪です。痴漢や盗撮・SNSなど性暴力の種類や手口（特徴）について話を聞きました。また、被害者と比べて圧倒的に強い立

場にある加害者とはどんな人か、グループで話し合いました。子どもたちからは「ずる賢い人」、「いじわるな人」、「ルールをよく分かっている人が、そういうことを悪いことに使った」、「優しい人」、「お金を持っている人」というような意見が出ました。優しく見えても、本当に優しいかどうかは分からない、中身は、自分の欲求に負ける、身勝手な人ということで一致しました。



さらに、被害者が被害後にとった行動をグラフで見て、被害にあった人はどんな気持ちか考えました。グラフでは「相談した」人は、30%ほどでした。「少ないな」とつぶやく子がいました。誰にも相談できなかった人はその倍以上です。このグラフを見て、子どもたちはみんな黙ってしまいました。「恥ずかしくて言えなかった」、「思い出さなかった」、「自分にも悪いところがあると思った」といったことが、相談しなかった理由として挙げられていました。しかし、悪いのは加害者であって被害者ではありません。そのことをしっかりと確認しました。

**よく話してくれたね！あなたはまったく悪くない！**

【子どもへの声かけの柱】

- ①よく話してくれたね！あなたは勇気のある人だよ！
- ②あなたはまったく悪くない！悪いのは加害者！
- ③秘密にしたいことは、秘密にするからね。
- ④これからのことは相談しながらすすめようね。

子どもが「性的虐待順応症候群」に陥らないために  
訴えを聞いたおとなが「そんなことはあるはずない」「家族がたいへんなことになる」などの反応をすることで  
訴えを撤回し、沈黙をすることがあることにも要注意である。

しらせろ

<子どもに相談されたら>

私達も、正しい知識と判断力をもち、子どもたちがいつでも相談できる信頼される大人でありたいと思います。

## ご協力いただき ありがとうございます！

### 歳末助け合い募金

12月5日（火）から8日（金）まで、人権ボランティア委員会が、各教室を回り募金を呼びかけました。皆様のご協力のおかげで横瀬小学校では、10,977円集まりました。勝浦町社会福祉協議会を通して、寝たきりの方や体の不自由な人のために使われます。



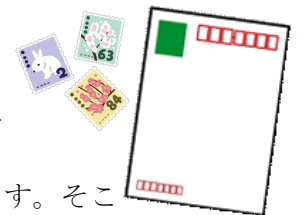
### 令和6年能登半島地震募金

1月15日から1月19日まで、令和6年能登半島地震で被災された方々のため、募金を行いました。集まったお金は、全部で39,838円でした。日本赤十字社徳島県支部を通じて、被災した県に送られ、令和6年能登半島地震で被災された方々の生活支援に役立てられます。

### 書き損じはがき

また、募金と同時に「書き損じはがき」の寄付もお願いしたところ、はがき124枚、往復はがき14枚が集まりました。

寄付していただいたはがきは、徳島県視覚障害者連合会に送ります。そこで、新しいはがきやお金に換えられ、目の不自由な人のために役立てられます。



募金も、書き損じはがきもみなさんのご協力のおかげで、たくさんあつまりました。あたたかいおこころづかいをありがとうございました。